

5 安全・安心で、魅力あふれる学校づくり

① 安全で安心できる学校づくり

子どもたちの事故や犯罪に対する安全意識や防災意識を向上させるために、学校安全計画等に基づき、学校教育全体で安全対策に取り組みます。また、感染症や災害の発生による臨時休業等により、児童生徒が登校できない場合にも学びを保障するため、児童生徒の学習習慣の確立などに取り組むとともに、オンライン学習等を可能とするためのICT環境の整備や活用を積極的に推進します。

さらに学校施設の非構造部材の耐震対策を含めた老朽化対策や防災機能強化、新たな感染症等を予防するための衛生環境の推進を図り、教育環境の安全・安心の確保と向上に努めます。

また、就学支援の着実な実施や、多様なニーズに対応した教育機会の提供に努めます。

1 学校の安全・安心の強化

学校内や登下校時における不審者による被害や不慮の事故などから子どもを守るため、安全で安心できる環境づくりを進めるとともに、家庭や地域、警察などの関係機関と連携した安全対策に取り組みます。

また、交通事故や不審者による被害を防止するための安全意識や、地震や津波等の自然災害などに対する防災意識を高めるなど、子どもが自ら安全な生活を実現するために何が必要かを考え、適切に意思決定し、行動できる資質や能力を発達段階に応じて育成するとともに、安全で安心できる社会づくりに貢献できる資質や能力を育成します。

また、新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、学校における感染症対策の徹底を図ります。

【主な事業】

○学校安全総合支援事業 (4, 292千円)

学校防災アドバイザーとして、大学教授等の防災に関する専門家を各学校(園)に派遣し、危機管理マニュアルや防災教育等への指導・助言や地域の防災組織等と連携した実践的な避難訓練への助言を行うことで、各学校(園)の防災体制整備や防災教育の充実を図ります。

また、PTA会員や地域ボランティアを対象に、地域における見守り体制の一層の充実をめざす研修会を開催するほか、学校等の安全担当者を対象に、防災、交通、防犯に関する研修会等を行うことにより、児童生徒が安全に関する実践力を身につけられるよう、教員の指導力の向上を図ります。

○高校生交通安全推進事業 (191千円)

「高校生自転車運転免許制度」を推進するとともに、自他を大切にする心の醸成を得られるような内容のDVD視聴を通して、交通ルールへの順守や交通マナーの向上に向けた交通安全教育の徹底を図ります。

2 学校施設等の整備、充実

学校施設は、幼児児童生徒の学習や生活の場として、重要な意義を持つとともに、災害時には地域住民の避難場所としての役割も果たすことから、安全で快適な教育環境づくりに積極的に取り組む必要があります。

このため、県立学校における施設や設備の整備・充実に努め、安全で快適な教育環境づくりに積極的に取り組みます。



障害物を準備した
実効性のある避難訓練の様子

〔主な事業〕

○高等学校施設・設備整備事業 (2,222,477千円)

①老朽校舎等改築事業 (1,706,751千円)

老朽化した校舎等の計画的な改築を行います。

- ・農業経営高校（校舎棟等改築基本設計等） ・笠田高校（校舎棟第1期改築工事等）
- ・高松北高校（大規模改修（南教室棟・管理棟）実施設計）
- ・坂出商業高校（大規模改修（食堂・特別教室棟）実施設計）
- ・坂出高校（大規模改修（特別教室棟）屋上防水・外壁塗装工事）
- ・坂出工業高校（大規模改修（武道場）屋根改修工事）

②環境整備事業 (145,210千円)

老朽化した空調設備の更新や、教科準備室等の冷房設備の整備等を行います。

- ・三木高校ほか5校（校内設備の改修）

③高等学校施設整備事業 (81,848千円)

校舎等の施設の整備等を行います。

- ・三本松高校（浄化槽解体工事） ・高松南高校（下水道接続工事）
- ・農業経営高校（農場畜産系污水枘及び污水管改修工事）

④建物等大規模改修事業 (161,802千円)

老朽化した校舎等の外壁、屋上防水等の改修を行います。

- ・三本松高校（図書館、資料館屋上防水改修実施設計） ・三木高校（管理棟屋上防水等実施設計）
- ・高松東高校（南館屋上防水等改修実施設計） ・香川中央高校（北教室棟外壁改修工事）
- ・高松桜井高校（南館屋上防水等改修実施設計） ・坂出商業高校（管理棟屋上防水改修工事）
- ・坂出高校（体育館屋上防水等改修実施設計） ・坂出工業高校（4号棟屋上防水改修実施設計）
- ・飯山高校（体育館屋上防水等改修実施設計） ・丸亀城西高校（ブロック塀等改修実施設計）
- ・高瀬高校（特別教室棟屋上防水等改修実施設計）

⑤教育設備等整備事業 (14,288千円)

理科教育等の設備の整備を行います。

⑥産業教育施設・設備整備事業 (62,236千円)

産業教育の充実を図るため、専門知識や技術の習得に必要な施設・設備の整備を行います。

⑦新しい学びのための環境整備事業（再掲） (50,342千円)

新学習指導要領で求められる主体的・対話的で深い学びを推進するため、県立高校及び高松北中学校でリースにより調達したICT機器（電子黒板、タブレットパソコン、無線LAN）等を活用して授業等を実施します。

○特別支援学校施設整備事業 (891,423千円)

①小豆地域特別支援学校整備事業（再掲） (802,448千円)

小豆地域における特別支援教育の充実を図るため、「香川県立小豆島みんなの支援学校」の令和5年4月開校に向けて、施設・設備の整備や教育内容等の検討を行います。

②特別支援学校施設整備事業 (69,443千円)

特別支援学校の学習環境の整備や老朽化した校舎等の施設設備の改修を行います。

- ・香川中部養護学校（3号棟空調改修工事、寄宿舎・体育館外壁屋上防水改修実施設計）
- ・香川東部養護学校（南館トイレ改修実施設計）
- ・聾学校（管理棟外壁屋上防水改修実施設計）
- ・盲学校（第1棟非常用発電設備改修、屋上防水改修工事）

③特別支援学校教室不足解消事業 (19,532千円)

特別支援学校における教室不足や給食施設の狭隘化等を解消するため、校舎の増改築等を行います。

- ・香川丸亀養護学校（基本計画、仮設校舎設置、給食の外部委託に伴う備品等準備業務）



新しい校舎での給食風景

3 学びのセーフティネットの構築

学校教育においては、年齢または国籍その他の置かれている事情にかかわらず、その能力に応じて教育を受ける機会が確保されていることが必要であることから、経済的に困難な家庭の幼児児童生徒等が適切に教育を受けることができるよう支援を行います。加えて、高校、大学において、奨学金の貸付を行い、教育費負担の軽減や地域の将来を支える有為な人材の育成を図ります。

また、外国人児童生徒は近年増加傾向にあり、日本語指導が必要な外国人児童生徒が円滑に学校生活および学習活動を行うことができるよう、支援体制の整備に努めます。

さらに、義務教育未修了者や不登校などさまざまな事情から十分に教育を受けられないまま卒業した者、外国籍の者などに対し、夜間等の時間において授業を行うなどの教育機会の確保等に関する取組みを促進します。

加えて、新型コロナウイルス感染症対応の経験を踏まえ、新たな感染症や災害の発生等の緊急事態であっても、必要な教育活動を継続するための取組みを進め、子どもたちの学びを保障するとともに、学校や関係機関が連携しながら、児童生徒の相談対応や心のケアに取り組みます。

〔主な事業〕

○高等学校等奨学事業 (276,404千円)

経済的な理由で修学が困難な高校生等に対し、奨学金の貸付を行い、有為な人材の育成を図ります。

- ・国公立学校貸付分 66,000千円
- ・私立学校貸付分 135,420千円

○高等学校等就学支援金交付事業 (1,777,122千円)

公立高校生に対して、授業料に充てるための高等学校等就学支援金を支給し、保護者の負担軽減を図ります。

○奨学のための給付金事業 (214,095千円)

低所得世帯の国公立高校生の保護者等に対して奨学のための給付金を支給します。

○特別支援教育就学奨励費支給事業 (162,884千円)

特別支援学校に就学する障害のある幼児児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、就学に必要な経費を支給します。

○外国人児童生徒等支援事業 (3,470千円)

日本語初期指導教室の設置や教育活動支援員の配置など、外国人児童生徒が学校生活を円滑にスタートして日本での生活に順応していくための支援について研究成果等の普及を行うほか、外国人児童生徒の日本語習得状況や生活への適応状況等に応じたきめ細かな支援体制を整備する市町を支援するとともに、日本語指導に携わる教員や教育活動支援員を対象とした研修を実施します。

○教育センター教育相談事業(再掲) (3,735千円)

いじめ、不登校、発達障害、子育て、ネットトラブルなど、学校教育や家庭教育上の問題についての電話相談や臨床心理士等による面接相談等を実施します。



日本語初期指導教室での学習

② 教職員の資質・能力の向上

優れた人材の確保や熟練教員の指導技術の継承を図り、自らの指導力を高め、さまざまな課題に適切に対応でき、信頼される質の高い教員を養成します。

また、学校における働き方改革をより一層推進するとともに、指導体制の充実などを図り、質の高い教育環境を整備します。

1 優れた教職員の確保と資質・能力の向上

教員には、教育に対する使命感や情熱はもとより、高い人格、識見や倫理観、教育者としての専門的な知識・技能に加え、個性を生かす教育の実現や社会の変化への対応など、学校教育が直面するさまざまな課題に適切に対応できる資質・能力が求められています。

そこで、教員の大量退職に伴い、優れた資質・能力を有する人材を確保するとともに、経験年数や職責に応じた研修や専門性の向上を図る研修の充実など、継続的に資質・能力の向上を図ります。

〔主な事業〕


○学校教育力向上支援事業 (18,872千円)

小・中学校教職員の実践的指導力や職務遂行能力の向上等を図るため、各小・中学校からの要請により退職教職員を派遣し、その優れた能力を活用します。

○「かがわで先生！」志願者アップ事業 (4,158千円)

説明会や多様な方法による広報活動を通して、県内外の学生等に、教職の魅力や香川県の教育の特徴を広くアピールしたり、受験機会を増やすために、新たに関西会場を設け、面接を実施するなど、受験者の負担軽減を図る多様な採用試験を実施したりすることで、香川県の公立学校の教員として意欲と熱意を持った優秀な人材の積極的な確保を図ります。

- ・教員採用に関する説明会の開催（オンライン説明会を含む）
- ・他県の現職教員を対象とした秋募集の実施
- ・ポスター、パンフレットの配布等による広報啓発

 採用試験の関西会場での実施

○教育センター教職員研修事業 (2,845千円)

a 基本研修

初任者から教職20年経験者まで、キャリアステージの各段階に応じて身につけなければならない知識・技能の習得や学習指導・生徒指導等における実践的指導力の向上を図るための指定研修を行います。

b 職務研修

職責、職能に応じた知識・技能を習得し、職務遂行能力の向上を図るための指定研修を行います。

c 専門研修

学習指導、生徒指導、教育相談、情報教育、特別支援教育、学校経営等に関する専門的な資質能力の向上を図るための選択型研修を行います。

d 教職大学院連携研修

香川大学教職大学院の科目及び授業の一部と連携することで、教員としての専門性の向上を図るための選択型研修を行います。

e 指導改善研修

児童生徒への指導が不適切な教員に対して、教育センターで研修を行います。

f 研修サポート事業

学校からの要請により、教育センターの指導主事を学校等に派遣して、各学校が行う研修等を支援します。



初任者研修

○教育センター調査研究事業 (247千円)

学校が直面する教育課題について、教育センターにおいて先導的・実践的な調査研究を行います。

○教育センター利用推進事業（582千円）

教職員の自主的な研修等を支援するため、教職員団体やグループ等へ教育センターの施設を開放します。

2 学校における働き方改革の推進

学校を取り巻く環境の複雑化や多様化に伴い、学校に求められる役割が拡大し、教員が担うべき業務は質・量ともに増加しており、その長時間勤務の常態化が課題となっています。

このため、教員がゆとりを持って教育活動の充実や指導力の向上に努めたり、人間性・創造性を豊かにしたりできるよう、学校における働き方改革を推進するとともに、教職員の心身両面の健康管理対策の充実に努めます。

〔主な事業〕

○教職員の働き方改革推進事業（400千円）

教職員の働き方改革に関して、専門的な助言・指導を受けるため、アドバイザーを招へいするとともに、学校関係者等から各種方策に関する意見を求めるなど、教育活動の充実に向けた教職員の働き方改革に取り組みます。

○スクールサポートスタッフ配置事業（53,340千円）

教職員の働き方改革を推進し、教員の事務負担軽減を目的に、学習プリント等の印刷など、教員の業務支援を行うスクールサポートスタッフ（教員業務支援員）を配置する市町に対し支援を行い、教員がより児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備します。



スクールサポートスタッフによる支援

○部活動指導員配置促進事業（9,322千円）

教員の長時間労働の解消と部活動の適正化を目的に、教員に代わって部活動の顧問として単独で部活動指導や大会等の引率をすることのできる部活動指導員を配置する市町に対し支援を行い、中学校における部活動指導体制の充実を図ります。

○部活動指導員活用事業（4,345千円）

教員に代わって部活動の指導や学校外への引率を行う部活動指導員を県立学校10校に配置し、教員の負担や負担感の軽減を図ります。

○地域部活動推進事業（運動部活動、文化部活動）（7,700千円）

令和5年度以降の休日部活動の段階的な地域移行のため、拠点校において地域人材の確保や費用負担の在り方等について実践研究を実施します。

○県立学校校務支援システム整備事業（40,052千円）

県立学校における生徒の成績、履修、出欠などのデータをデータセンターで統合的に管理し、教職員が行う校務処理を教員用パソコン上で迅速かつ効率的に行うためのシステムを、平成30年度から特別支援学校8校を含むすべての県立学校で運用しています。

○教職員のメンタルヘルス対策事業（16,115千円）

常勤の臨床心理士による相談体制の充実、管理監督者や職階別の研修、メンタルヘルスへの理解を深めるための巡回セミナーなどを実施します。

また、定期的なストレスチェックの実施と高ストレス者への医師の面接指導や臨床心理士によるフォロー相談の実施など、一次予防（メンタルヘルスの保持増進と不調の未然防止）、二次予防（不調の早期発見、早期対応）、三次予防（円滑な職場復帰と再発防止）の各段階に応じた効果的なメンタルヘルス対策に取り組みます。

③ 信頼され魅力ある学校づくり

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進し、住民や保護者等の学校運営への参画を促し、地域と連携・協働する学校づくりを進めます。

また、高校においては、地域や企業等と連携した学校行事や地域課題探究学習、リーディングスクールにおける教育プログラムの研究開発などを行うとともに、県内外への情報発信の充実を図り、それぞれの学校の特色化・魅力化を推進します。

1 地域と協働する学校づくりの推進

子どもを取り巻く環境が変化する中、将来を担う子どもたちに、これからの時代に必要な力や、地域への愛着や誇りを育成するため、学校、家庭、地域が連携・協働して子どもたちの成長にかかわることが重要であることから、学校は、教育活動や学校運営についての情報を積極的に提供し、保護者や地域住民の意見や要望を的確に捉えるとともに、自ら評価を行い、これを学校運営に反映させるなど、地域とともにある学校づくりを進めます。

また、小・中学校の統合や小中一貫教育などの新しい学校づくりについては、設置者である市町が、それぞれの地域の実情を十分に検討したうえで、地域住民の理解と協力のもと進めていくことが求められます。

〔主な取組み〕

○学校評価システムを活かした学校運営の改善

各学校においては、保護者や地域住民の意見を学校運営に反映し、その協力を得るとともに、カリキュラム・マネジメントと関連付けながら学校の活動状況を評価し、その結果を公表するなど、評価結果を活かした学校運営の改善を行い、教育水準を向上させるよう努めます。

2 学校の特色化・魅力化の推進

児童生徒の興味・関心や地域の特色などを活かした教育活動により、児童生徒の学習意欲を喚起し、必要な資質・能力を確実に身に付けさせ、またその可能性と能力を最大限に伸ばせるよう、学校の特色化・魅力化を推進します。

〔主な事業〕

○魅力あふれる県立高校推進事業（再掲） （6,948千円）

「魅力あふれる県立高校推進ビジョン」の中で掲げられている「郷土への理解や郷土愛」「イノベーション創出力」「グローバル社会への対応」に関して、教育プログラムの研究開発に取り組み、その研究成果を普及させ、県立高校の魅力向上を図るとともに、「ビジョン」に示した、必要な教育環境の整備等に向けた検討や準備を進めます。

新 ○せとうち留学パイロット校事業 （1,208千円）

全国からの生徒募集と高校魅力化のため開かれる「地域みらい留学」に、小豆島中央高校がパイロット校として参画し、得られた知見を他校に普及する取組みを行うことで、せとうち留学（全国からの生徒募集）における一層の生徒確保と効果的な地域連携の推進を図ります。



せとうち留学